

<問題Ⅱ 正解と解説>

問題 1：正解は a

かつては必要だったが現在は必要ない。

問題 2：正解は c

それに次ぐ役職にある者ではなくその相続人。

問題 3：正解は a

他分野の専門技術者と積極的に協調すべき。

問題 4：正解は b

実施方針・実施フロー・工程表は必要記載項目である。

問題 5：正解は d

a：やむ得ないときは、口頭で指示し 7 日以内に書面にする

b：書面により行わなければならない。

c：「かし担保」の責任が終了する日までなど、相当の期間は保管しておくことが適当である。

問題 6：正解は c

特別な状態が生じたことを発見したときは、発注者に通知し、その確認を請求しなければならない。

問題 7：正解は c

技術経費は、建設コンサルタント等における平素からの技術能力の高度化に要する経費である。

問題 8：正解は a

基本的に再委託できるのはルーチンワークのみ。

問題 9：正解は d

設計業務等を適正かつ円滑に実施するため、常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとする。

問題 10：正解は a

担当監督員は入らない。

問題 11：正解は b

ペーパーカンパニー等の不良・不適格業者が排除され、技術と経営に優れた企業が伸びることのできる環境が整備される。

問題 12：正解は b

見積書の徴収等による適切な積算

問題 13：正解は d

現在直面する危機である。

問題 14：正解は c

被災状況把握等において GIS（地理情報システム）が活用されたが、関係機関同士の相互利用による効果的な救援活動支援などができなかった。これを教訓に GIS 整備が本格化した。

問題 15：正解は d

民間事業者が公園管理者と締結する協定に基づき公園内にカフェ・売店等を設置。

問題 16：正解は c

三つの中長期的目的は安全安心の確保、持続可能な地域社会の形成、経済成長の実現。

問題 17：正解は c

5 万人ではなく 10 万人。

問題 18：正解は c

鬼怒川上流の 4 ダムにおける洪水調節により、氾濫水量を概ね 2/3、氾濫面積を概ね 2/3 に減少させたと試算されている。

問題 19：正解は b

回路配置利用権は、知的財産権には含まれるが産業財産権には含まれない。

問題 20：正解は c

「予測的範囲にまで拡大して表明する」→「確信をもって表明する」